

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡英和学院大学短期大学部
設置者名	学校法人静岡英和学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>			
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 <ol style="list-style-type: none"> ①授業担当者がシラバス案を作成 ②授業目的・内容・評価方法等について自己点検し、チェックシートを提出 ③専任教員による第三者チェックを実施し、授業担当者にフィードバック ④授業担当者が修正 ・授業計画の作成・公表時期 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">学内向け3月末</td> <td style="width: 50%;">学外向け3月末</td> </tr> </table> 		学内向け3月末	学外向け3月末
学内向け3月末	学外向け3月末		
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>短大HPにシラバス検索サイトをリンク (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/life/silabus/) 「講義内容」中の「シラバス検索」</p>		
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>			
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>GPA及びCAP制を導入し、厳格かつ適正に認定している成績の評価方法や基準を授業計画(シラバス)にて公開し、出欠やレポート、授業態度等の複合的な要素からの総合的な評価を徹底している。</p>			

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>G P A制度を導入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容 履修登録科目の成績をS, A, B, C, Fの5段階で評価し、Sを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Fを0点とし、それぞれの単位数を掛け、その合計ポイントを履修単位数の総和で割って出した平均点。 ・ 成績評価・判定基準 総合的に判断して出した成績（総合点）をもとに、あらかじめ公表している判定基準に照らし合わせ評価している。 ・ 成績の分布状況の把握 添付資料「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」により、教務委員会等で教育改革のための資料として活用している。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>短大 HP (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/life/silabus/)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業の認定に関する方針の具体的な内容 学科ごとに学位を授与するために必要な能力・資質を示している。 ・ 卒業の認定に関する適切な実施状況 課程に定める所定の単位を修得した者のリストから、教務委員会及び教授会にて本学のディプロマ・ポリシーに沿って、卒業を審議している。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>短大 HP 及び学生向け各種印刷物 (http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/outline/3policy/)</p>